

香川高等専門学校			電子情報通信工学専攻（一般教育科）				開講年度		平成29年度（2017年度）														
学科到達目標																							
A-A 技術者としての責任を自覚し，人類の福祉に貢献できる倫理観を身に付ける。																							
B-D 技術者としての基礎知識を身につけ，高度な関連技術を修得し，広い視野を持って技術の発展に対応できるようになる。																							
C-E 与えられた課題を達成する手段を設計し，粘り強く問題解決に取り組むことができるようになる。																							
D-B 日本語及び英語で共同作業を良好に行うことができる。																							
D-C 情報機器を活用して情報収集や情報分析，文書作成，口頭発表ができるようになる。																							
D-F 運動能力の維持向上に努め，規律正しい団体行動がとれるようになる。																							
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数								担当教員	履修上の区分								
						専1年				専2年													
						前		後		前		後											
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q										
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅰ（前期課程）	0001	学修単位	1	<table><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								1								森 和憲	
1																							
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅰ（後期課程）	0002	学修単位	1	<table><tr><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										1						森 和憲	
		1																					
工学基礎	必修	技術者倫理	0003	学修単位	2	<table><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								2								山岡 健次郎 内田 由理子	
2																							
工学基礎	選択	応用数学特論	0004	学修単位	2	<table><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								2								上原 成功	
2																							
工学基礎	選択	物理科学特論	0006	学修単位	2	<table><tr><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										2						黒木 経秀 野村 大輔	
		2																					
一般	選択	文学特論	0009	学修単位	2	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>												2				森 あかね	
				2																			
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅱ（前期課程）	0007	学修単位	1	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>												1				出淵 幹郎	
				1																			
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅱ（後期課程）	0008	学修単位	1	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></tr></table>														1		出淵 幹郎	
						1																	

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	技術者倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		工学基礎 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (一般教育科)		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	『はじめての技術者倫理』 (北原義典著、講談社)						
担当教員	山岡 健次郎,内田 由理子						
到達目標							
1. 技術者として身につけるべき倫理規定, 法, 規約等を理解する。 2. 専門職の役割には責任や義務の伴うこと, その影響が自然や社会に及ぶことを, 実際に生じた事例を通して学習する。 3. 技術の使命が人々の生活の向上や社会的貢献にあり, 環境への配慮や世代間倫理の確認を通して, 技術者としての倫理的責任を自覚し, 考える習慣を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	倫理規定などの知識を身につけ、現実に応用できる。		倫理規定などの知識が身についている。		倫理規定などの知識が十分に身についていない。		
評価項目2	事例を通して、技術者の責任や義務を把握し、主体的に考察できる。		事例を通して技術者の責任や義務を把握できている。		技術者の負うべき義務や責任について十分に理解していない。		
評価項目3	社会における技術者の役割を十分に認識し、責任ある行動を取ることができる。		社会の中での技術者の役割を十分に認識している。		社会の中での技術者の役割があまり理解できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	教科書, 資料によって主に講義形式で授業を進めるが, 工学倫理について理解を深めるために, 討議を行い, レポート提出も課す。事例研究では, 各自が事例を調査, 分析し, 発表する。また応用倫理として, 生命, 環境, ビジネス, 情報についての倫理の理解を進める。						
授業の進め方・方法	教科書, 資料によって主に講義形式で授業を進めるが, 工学倫理について理解を深めるために, 討議を行い, レポート提出も課す。事例研究では, 各自が事例を調査, 分析し, 発表する。						
注意点	オフィスアワー: 水曜16時~17時						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	技術者倫理とは		技術者倫理教育について学ぶ。		
		2週	工学の倫理概念		倫理概念、工学の倫理概念について学ぶ。		
		3週	倫理綱領		倫理綱領から技術者が社会に対して負う責任を学ぶ。		
		4週	ビジネス倫理		企業の社会的責任について学ぶ。		
		5週	製造物責任		製造物責任について学ぶ。		
		6週	知的財産		知的財産について学ぶ。		
		7週	事故調査 (1)		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
		8週	事故調査 (2)		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
	2ndQ	9週	事故調査 (3)		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
		10週	事故調査 (4)		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
		11週	内部告発		技術者の組織・雇用者への忠誠と不服従・内部告発について学ぶ。		
		12週	企業秘密		転職のモラル及び守秘義務と公衆の福利について、技術者に求められるべきことを学ぶ。		
		13週	安全性と設計		安全とリスクに関して技術者が心がけるべきことを学ぶ。		
		14週	社会制度とモラル		社会制度を視野に入れた技術者のあり方について学ぶ。		
		15週	施工・工程管理・維持管理		技術者の公正中立の責任について学ぶ。		
		16週	前期期末試験		内容の理解度を確認する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	0	10	0	100
基礎的能力	70	20	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	応用数学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0004			科目区分	工学基礎 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (一般教育科)			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	上原 成功						
到達目標							
情報科学や数学一般の基礎である集合と論理の学習を通じて、情報や数学を論理的に記述する方法や論理的な考え方に触れ、数学的な思考力の涵養を試みる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		量化記号を用いて数学の論証ができる		量化記号の読み書きができる		存在量化記号と全称量化記号の区別がつかない	
評価項目2		可算と非可算の違いを論証できる		単純な集合の濃度が求められる		有限と無限の区別がつかない	
評価項目3		ここでの実数の定義により、本科の数学で証明せずに利用したいいくつかの命題を証明できる		ここでの実数の定義を理解する		有理数と無理数の区別がつかない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	論理と集合について、教科書を用いた講義と演習のほか、ビデオやハンドアウトを用いて授業することがある。原則として項目毎に練習問題のレポートを課す。						
授業の進め方・方法	論理と集合の基本事項について教科書を用いた講義と演習を行う。数学一般で用いられるいくつかの論法や、教科書で学んだ事項を応用する題材、本科の数学で学習したものの中で証明されなかったいくつかの事項を証明する等、教科書以外の内容も適宜取り入れる。						
注意点	オフィスアワー：火曜放課後						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	導入と数学一般の話題		背理法、部屋割論法を用いた簡単な証明ができる。		
		2週	数学一般の話題		有限と無限の違いを理解する。有理数と無理数の定義と性質を理解する。		
		3週	集合と命題		集合や記号等に慣れる。		
		4週	述語と命題		演習を通じて量化記号に慣れる。		
		5週	述語と量化記号		量化記号により、数学的論証を考えることができる。		
		6週	述語と論証		簡単な論証ができる。		
		7週	写像		写像を知り、理解する。		
		8週	同値関係		同値関係を理解して簡単な問題に利用できる。		
	2ndQ	9週	要素の個数		無限集合の濃度を理解する。		
		10週	可算集合		可算を理解する。		
		11週	可算と非可算		非可算を知る。対角線論法を理解する。		
		12週	実数		実数の定義を理解する。		
		13週	実数		実数の定義により、いくつかの命題を示す。		
		14週	実数		実数の定義により、本科で利用したことのあるいくつかの定理を証明する。		
		15週	定期試験		集合と論理の基本		
		16週	試験の返却と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	0	0	0	70	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	70	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	文学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0009			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (一般教育科)			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	前期:2		
教科書/教材	適宜プリントを配布する。						
担当教員	森 あかね						
到達目標							
1、日本語による表現力, 討論力の向上を目指す。 2、種々の文学やその理論, また日本文学作品に触れ, 創造的な発想力や思考の柔軟性を養い, 視点の取り方の方法を学ぶ。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語による表現力, 討論力を身に着け、使いこなす。			日本語による表現力, 討論力を身に着ける。		日本語による表現力, 討論力が身に着いていない。	
評価項目2	創造的な発想力や思考の柔軟性を養い, 視点の取り方の方法を理解し、応用できる。			創造的な発想力や思考の柔軟性を養い, 視点の取り方の方法を理解する。		創造的な発想力や思考の柔軟性を養い, 視点の取り方の方法を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		文学についての基礎的知識を学ぶ		
		2週	古事記の成立ー古事記と日本書紀ー		古事記についての基礎的知識を学ぶ		
		3週	日本神話 (古事記上巻)		様々な「文学作品」の中で「読む」行為とは何を意味するのか、問題点は何かを考える		
		4週	日本神話 (古事記上巻)		様々な説話の中で問題点は何かを考える		
		5週	垂仁天皇と沙本毘売命・比婆須比売命		様々な説話の中で問題点は何かを考える		
		6週	倭建命と弟橘比売命・美夜受比売		様々な説話の中で問題点は何かを考える		
		7週	仁徳天皇と黒日比・八田若郎女・女鳥王		様々な説話の中で問題点は何かを考える		
		8週	平安文学を「読む」① 『源氏物語』の背景・概要		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
	2ndQ	9週	平安文学を「読む」② 『源氏物語』の構成・光源氏の物語		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		10週	平安文学を「読む」③ 『源氏物語』の結婚・紫の上の物語		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		11週	平安文学を「読む」④ 『源氏物語』の物の怪		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		12週	平安文学を「読む」⑤ 『源氏物語』の服飾		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		13週	平安文学を「読む」⑥ 『枕草子』の背景・概要		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		14週	平安文学を「読む」⑦ 『枕草子』の人物たち		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		15週	平安文学を「読む」⑧ 王朝文学の受容		日本古代文学についての基礎的知識を学ぶ。 人間と文化について考える。		
		16週	期末試験		これまでの内容を説明できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	0	0	20	100
基礎的能力	60	20	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0